



Fukuoka City Wi-Fi 現状と目指すべき方向性

福岡市 市長室広報戦略室 広報課
白木 秀一



Fukuoka City Wi-Fi 事業スキーム

◆ 事業主体

事業主体：福岡市

整備・運用：NTTブロードバンド・プラットフォーム（株）

整備の考え方：公共による先導、民間を誘導

◆ 事業費

初期整備費用：約2,000万円（平成24年度）

運用・保守費用：約1,000万円／年（平成24～26年度）



Fukuoka City Wi-Fi 事業スキーム

◆ 整備方法

○ システム（ネットワーク・サーバ等）

民間通信事業者（NTT-BP社）の設備を最大限に活用

○ アクセスポイント

- ① 既設アクセスポイントのない施設は新設
- ② 既設のアクセスポイントがある施設には、
共用アクセスポイントに福岡市のSSIDを追加
- ③ 簡易アクセスポイントの購入・設置



+



簡易アクセスポイント

購入費：1台 48,000円（税抜）

※3年保証付、工事費は別途

※光回線・電源はエリアオーナーで準備



Fukuoka City Wi-Fiの現状

◆ 拠点数

福岡市内 全73拠点 (328AP) ※平成26年11月27日現在

うち公共施設 50拠点 (206AP) ・ 民間施設 23拠点 (122AP)

◆ 認証数推移

- ・ サービス開始当初
(平成24年4-5月平均)

958回/日

- ・ 平成26年9月 平均

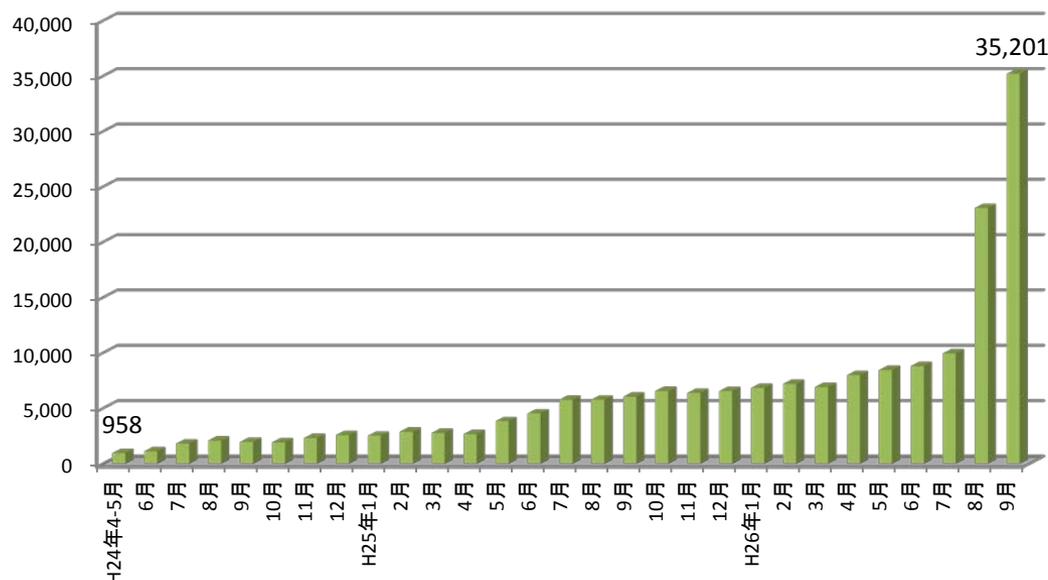
35,201回/日

- ・ 累計認証回数

(平成24年4-5月平均)

約565万回

認証数推移 (平成24年4月～平成26年9月)



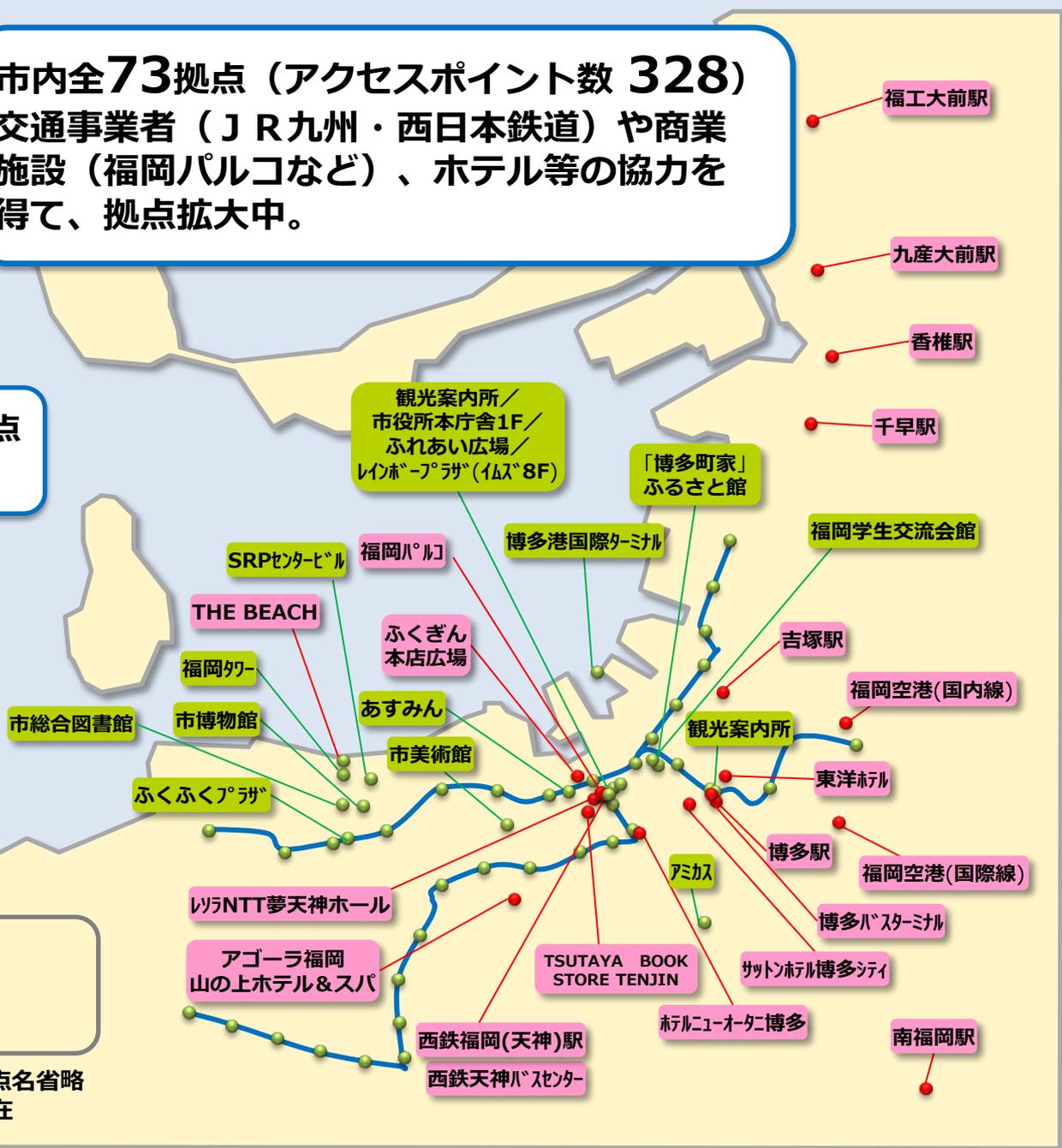


市内全**73**拠点（アクセスポイント数 **328**）
 交通事業者（JR九州・西日本鉄道）や商業
 施設（福岡パルコなど）、ホテル等の協力を
 得て、拠点拡大中。

- ・市関連拠点 **50**拠点
- ・民間拠点 **23**拠点

- 市関連施設
- 民間施設、空港
- 福岡市地下鉄路線

※ 地下鉄駅については拠点名省略
 ※ 平成26年11月27日現在



福工大前駅

九産大前駅

香椎駅

千早駅

福岡学生交流会館

吉塚駅

福岡空港(国内線)

東洋ホテル

福岡空港(国際線)

博多バスターミナル

サトウホテル博多シティ

南福岡駅

観光案内所/
市役所本庁舎1F/
ふれあい広場/
レインボープラザ(14F・8F)

「博多町家」
ふるさと館

SRPセンタービル

福岡パルコ

博多港国際ターミナル

THE BEACH

ふくぎん
本店広場

福岡タワー

あすみん

市総合図書館

市博物館

市美術館

ふくふくプラザ

九大学研都市駅

観光案内所

ソラシティ夢天神ホール

アゴーラ福岡
山の上ホテル&スパ

TSUTAYA BOOK
STORE TENJIN

西鉄福岡(天神)駅

西鉄天神バスセンター

アマカス

ホテルニューオータニ博多



Fukuoka City Wi-Fi 展開イメージ

◆ 持続可能なWi-Fiの運用に向けた4 STEP



現在のFukuoka City Wi-Fi : 3ステップ目へ移行中

→最終目標 : 持続的にWi-Fi事業を維持する
「新たな運用モデル」を構築



Fukuoka City Wi-Fi 展開イメージ

◆STEP1 利便性の向上



○課題の抽出と改善の実施による利便性向上

アンケート結果等から改善点を抽出

- ・「1回あたりの接続時間が短すぎる」
- ・「拠点移動毎に接続が切れて面倒」等の意見あり

→同意認証手続を不要とする自動認証機能を搭載（平成26年8月～）

- ・面倒な手続きなしで、6カ月間はフリーに接続可能
- ・本サービスエリアに入るとシームレスに接続

⇒8月より認証回数が増加



Fukuoka City Wi-Fi 展開イメージ

◆STEP 2 利用者の拡大



①Fukuoka City Wi-FiのPR

- ・ 利用可能エリアが分かるwebサイトを開設
- ・ 観光セクションとの連携による海外プロモーション
- ・ イベントへの臨時Wi-Fiスポット設置による認知度UP

②ユーザの利用拡大につなげる施策

- ・ Japan Connected-free Wi-Fiへの参加
- ・ 台湾（新北市）との海外Wi-Fiローミング実施
(自治体主体の公衆無線LANサービスによる海外Wi-Fiローミングは **世界初**)



Fukuoka City Wi-Fi 展開イメージ

◆STEP3 民間施設への拡大



○Fukuoka City Wi-Fiを活用した
情報発信の充実と街の回遊性の向上

- ①フィールド提供による社会実験への後援・協力
(J Guidest Fukuoka)
- ②Wi-Fiを活用したスタンプラリー
- ③情報バナーを活用したイベント告知 等

⇒民間施設が導入メリット（集客効果等）を体感



Fukuoka City Wi-Fi 展開イメージ

◆STEP3 民間施設への拡大

利便性の向上

利用者の拡大

民間施設への拡大

持続可能なWi-Fi
の運用

①JTB/NTTグループと連携した社会実験 (J Guidest Fukuoka)

- Fukuoka City Wi-FiやDoSPOTのアクセススポット周辺の観光情報等をプッシュ配信
- Wi-Fiを活用したビジネスモデルの構築等、「第二創業」への繋がりに期待



【台北国際旅行博2014でのプロモーションの様子】



Fukuoka City Wi-Fi 展開イメージ

◆STEP3 民間施設への拡大



②キャラクター等を活用したWi-Fiスタンプラリー

- ・天神地区のまちづくり協議会とのタイアップによる商業施設と連携したWi-Fiスタンプラリーを実施検討中



③情報バナー表示機能を搭載

- ・利用者のブラウザに対して情報バナーを表示するポップイン機能を搭載
- ・福岡市からのお知らせやエリア情報等を発信
- ・ロケーション毎にバナー表示内容の変更が可能





Fukuoka City Wi-Fi 展開イメージ

◆STEP4 持続可能なWi-Fiの運用



○情報発信媒体としてのWi-Fiの価値を向上

- ・ 利便性の向上、利用者の拡大、民間施設への拡大を継続実施
- ・ 情報発信機能の充実、情報発信拠点の拡大、ロケーション毎情報表示機能の活用
- ・ ビッグデータ解析、オープンデータへの取組との連動

⇒情報バナー枠やスタンプラリーの広告販売による歳入確保

➡ 持続的にWi-Fi事業を維持する
「新たな運用モデル」を構築



Fukuoka City Wi-Fi 今後の課題

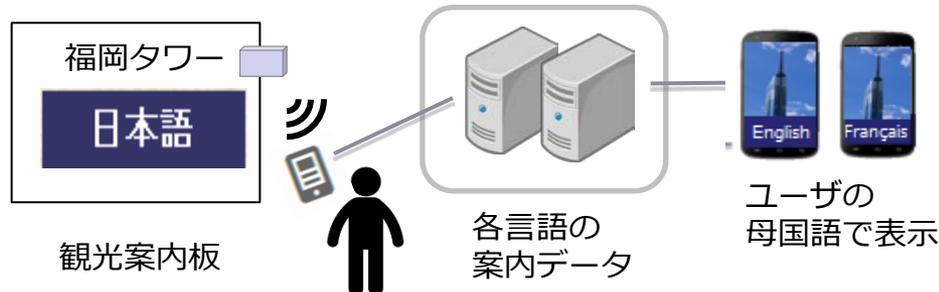
◆ 屋外観光施設への導入（屋外用AP）

- ・ 屋内への導入と比較して、初期整備の負担増が見込まれる
- ・ 耐用年数等を考慮すると、運用費の負担も増加

◆ 情報発信力の強化

- ・ 多言語での観光・イベント情報等の発信、リアルタイムな情報発信

【多言語での観光案内】



【リアルタイムな情報発信】





Fukuoka City Wi-Fi 今後の課題

◆ Wi-Fiアクセスデータの解析

- ・ 利用状況や位置情報等の動態分析を活用した新しいビジネスの創造

◆ ユーザのICTリテラシ向上

- ・ “野良Wi-Fi”の危険性やセキュリティ対策
- ・ ユーザの自主的な判断によるICTツールの使い分け